

フタモンクモバチ

Parabatozonus hakodadi (Dalla Torre)
ハチ目・クモバチ科

【福井県カテゴリー】新：要注目

旧：—

【環境省カテゴリー】準絶滅危惧

選定理由

確認地点数は増加した。県内ではごく普通種だが、青森県、神奈川県、京都府、高知県の各府県で減少が報告されており、本県でも今後注視が必要である。

種の特徴

体長メス 20～30 mm、オス 15～24 mm。黒色で顔面両側にある縦斑と第3腹板基部にある後縁中央部のえぐれた横帯は黄色。成虫は7～8月頃出現し、オニグモを狩る。

分布

北海道～九州に分布。県内では大野市、勝山市、あわら市、福井市、南越前町、敦賀市、美浜町、若狭町で記録があり、今回永平寺町、越前町、小浜市、高浜町でも確認された。

生息を脅かす要因

開発による里山の消失や里山林の管理放棄による環境の悪化によるオニグモの減少、営巣地の減少等が本種の減少要因と考えられる。

参考文献 福井県自然環境保全調査研究会 (1998)、羽田 (2002)、羽田 (2005)、羽田・井上 (2003)、羽田・井上 (2006)、羽田ら (2005)、平嶋・森本 (2007)、環境省 (2015)、京都府自然環境保全課 (2015)

市町別 生息情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
	○		○	○	○	○	○	○		○			○		○	○	○

アオスジクモバチ

Paracyphononyx alienus (Smith)
ハチ目・クモバチ科

【福井県カテゴリー】新：要注目

旧：—

【環境省カテゴリー】情報不足

選定理由

確認地点数は増加した。海岸等砂地に生息地は限られるうえに、近隣の石川県、京都府と、埼玉県で減少が報告されており、本県でも今後注視が必要である。

種の特徴

体長 13 mm内外。体は黒色で灰青色の微毛から成る明瞭な線斑がある。腹背節各節の帯斑は特に顕著。主に海岸に生息し、イソコモリグモ等の徘徊性クモ類を狩る。

分布

本州～九州に分布。県内では三里浜、美浜町丹生でこれまでに確認記録がある。今回の調査では、福井市白方町、あわら市北潟、浜坂で確認された。

生息を脅かす要因

海岸地域に生息する個体群では、海岸砂丘の減少と破壊が減少の原因となる。

参考文献 福井県自然環境保全調査研究会 (1998)、平嶋・森本 (2008)、環境省 (2015)、京都府自然環境保全課 (2015)

市町別 生息情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
				○							○		○				○

キオビクモバチ

Batozonellus annulatus (Fabricius)
ハチ目・クモバチ科

【福井県カテゴリー】新：要注目

旧：—

【環境省カテゴリー】—

選定理由

南方系で海岸等の砂地に生息。海岸という人為的影響を受けやすい環境に生息することと、温暖化の影響により県内の分布域が変化する可能性があり、注視が必要。

種の特徴

体長メス 23～28 mm、オス 16～18 mm。雌雄で著しく形態が異なり、メスは黒色で胸部背面、触角及び脚の大部分が黄褐色、腹部は黒く、第2節基部に黄色帯がある。オスは黒色で全体に鮮黄色の斑紋を有する。コガネグモ科のクモを狩り、地中に巣を作る。

分布

本州～九州と南西諸島に分布。県内では三里浜、敦賀市松原、池田町冠山、大野市森目、敦賀半島、高浜町内で記録があった。今回、あわら市、福井市等でも見つかった。

生息を脅かす要因

海岸の開発等が影響を与える。

参考文献 福井県自然環境保全調査研究会 (1985)、福井県自然環境保全調査研究会 (1998)、平嶋・森本 (2008)、野坂・黒川 (2003)

市町別 生息情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
			○			○			○		○		○			○	○